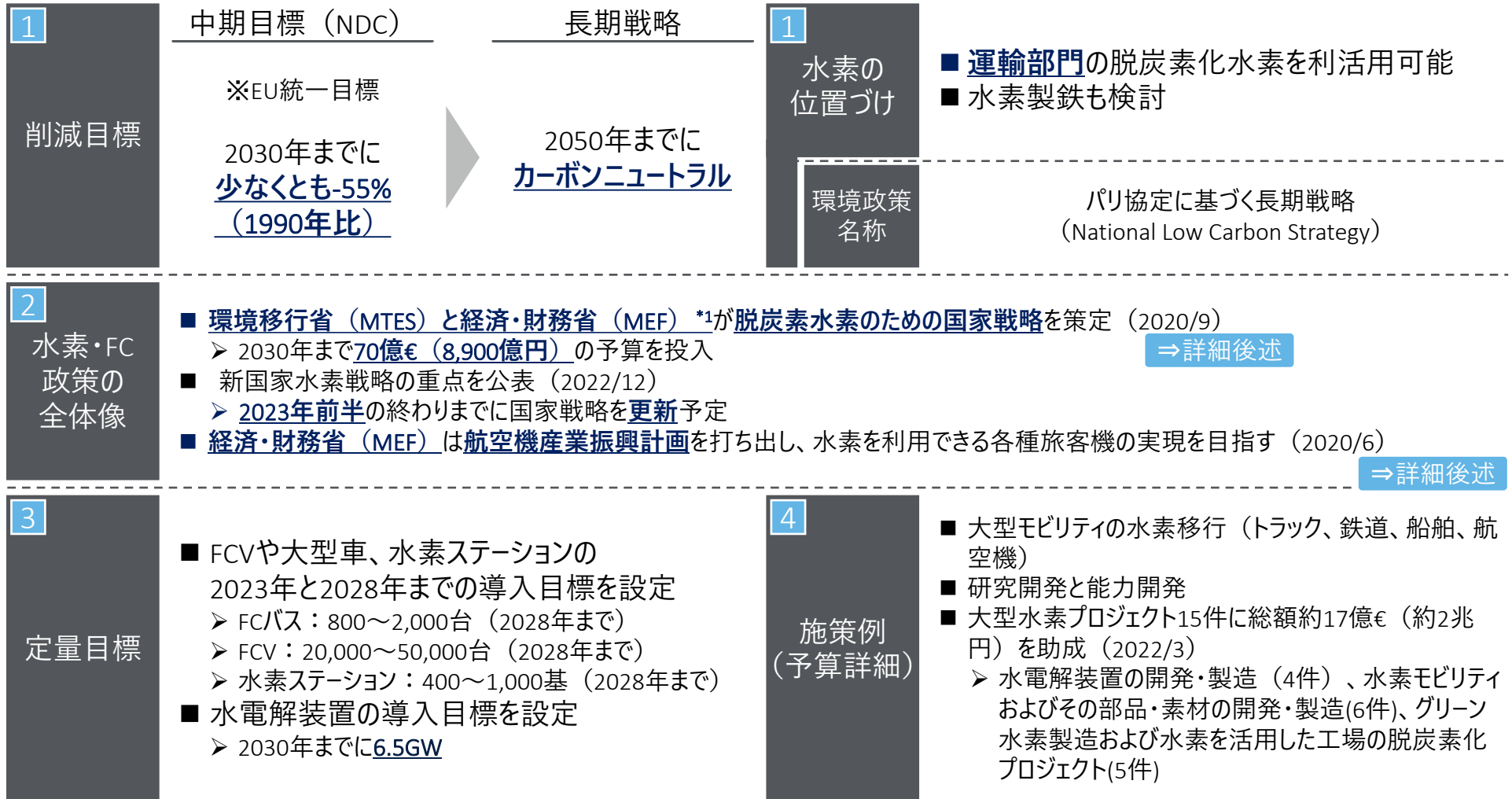




## 【国・地域別サマリー フランス】

# フランスは、国家戦略において2030年までに70億€の予算を投入することを示す

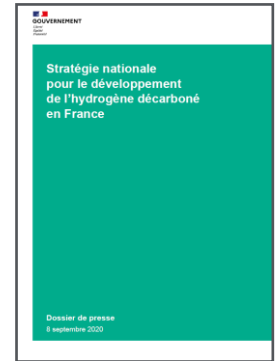




< 参考：水素・FC政策の全体像詳細 >

# フランスは国家水素戦略を策定し、国内の水電解産業の育成、化学工業と大型モビリティにおける水素利用促進、研究開発と能力開発を進める

名称	脱炭素水素のための国家戦略
策定主体	環境移行省（France Ministry for an Ecological and Solidary Transition）、 経済・財務省（Ministry of Economy and Finance）
策定期期	2020年9月
予算	■ <u>70億€（8,900億円）</u> （2030年までの予算）
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 三つの分野への支援に焦点を当てる <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 水素産業の創出（アンモニア製造、メタノール製造、石油精製の脱炭素化） <ul style="list-style-type: none"> <li>● フランス製の水電解装置製造業の育成</li> <li>● 脱炭素水素の認証制度、FIP制度などの支援制度の創設</li> </ul> </li> <li>➢ 大型モビリティの水素移行（トラック、鉄道、船舶、航空機） <ul style="list-style-type: none"> <li>● 水素船舶、水素航空機の技術開発、実証等</li> <li>● コスト低減のため、生産者と消費者のコンソーシアム形成によるプロジェクトの大規模化</li> </ul> </li> <li>➢ 研究開発と能力開発</li> </ul> </li> </ul>
定量目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 産業：水電解装置を2030年までに6.5GW導入</li> <li>■ 大型モビリティ：2030年にCO2排出量を600万トン削減</li> <li>■ 共通：2030年に5万人～15万人の雇用を創出</li> </ul>
その他特徴	■ 戦略の対象は「脱炭素水素」であり、再エネ由来水素のみならず、原子力由来水素も含まれている




出典：環境移行省、経済・財務省 “Stratégie nationale pour le développement de l’hydrogène décarboné en France”（2020/9）



<参考：水素・FC政策の全体像詳細>

# フランスは航空機産業振興計画を打ち出し、バイオ燃料やグリーン水素を利用できる各種旅客機の実現を目指す

名称	航空機産業再生計画（plan de relance du secteur aéronautique）		
策定主体	経済・財務省（Ministry of Economy and Finance）		
策定期期	2020年6月		
予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 合計150億€（1.9兆円）の支援を計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 内、3年間（2020年～2022年）にわたり、<b>15億€（1,900億円）を研究開発の支援に充てる</b></li> </ul> </li> </ul>		
策定の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Boeing 737 Maxの事故を受けた飛行禁止と製造停止による航空機産業への打撃（2019年）</li> <li>■ COVID-19による旅客航空機の大幅な利用低下 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 世界の航空会社に34兆円を超える売り上げ損失（2020年見込み）</li> <li>➢ 旅客機や交換部品の需要低下</li> </ul> </li> </ul>		
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 需要の喚起 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 輸出への支援、公共調達の早期化、エールフランスKLMへの支援</li> </ul> </li> <li>■ 供給への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 中小企業への支援、生産性向上への支援、<b>航空セクターのグリーン化に向けた研究開発の支援</b>（燃料使用効率の向上、旅客機の電化、<b>水素等のグリーン燃料の利用に関する技術開発</b>を支援）</li> </ul> </li> </ul>	<p>航空セクターの グリーン化に関する 目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2025年までに航空ルートの最適化（-5%削減見込み）</li> <li>■ 2028年にハイブリッド又は<b>水素燃料</b>の短距離旅客機の実証 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 2030年に実現</li> </ul> </li> <li>■ 2026年～2028年：<b>グリーン水素を利用したカーボンニュートラル中距離旅客機（A320クラス）</b>の実証 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 2033年～2035年に実現</li> </ul> </li> <li>■ 2029年にハイブリッドヘリコプターの実証</li> <li>■ 2030年にバイオ燃料ジェット機や<b>燃料電池ドローン</b>の実証</li> </ul>

出典：フランス経済・財務省「航空機産業振興計画」（2020/6）